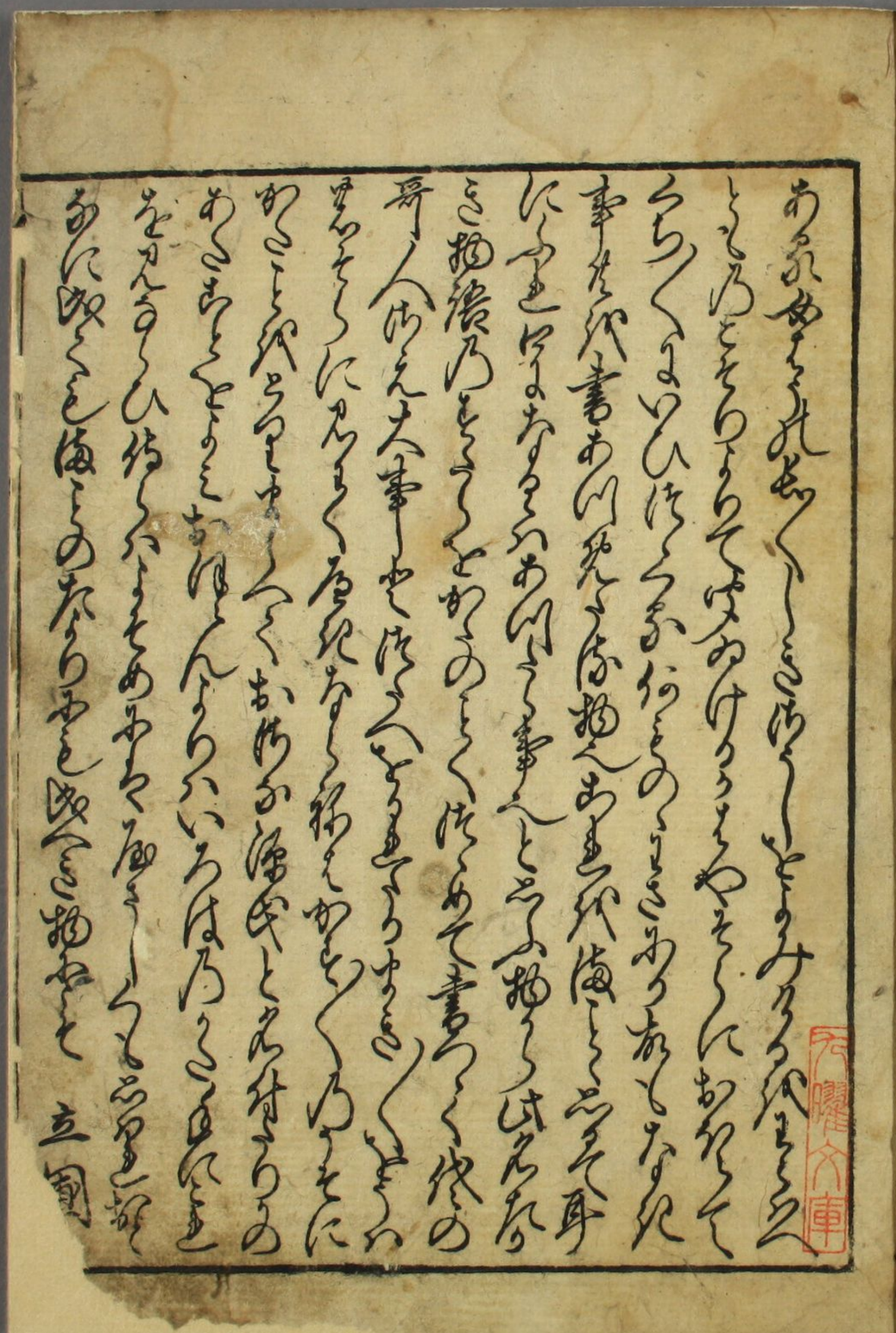
俗入

わさ物源氏

物つくし

一



源氏物語

太上天皇
前坊
秋好中宮
桃園式部卿
槿斎院
三宮
女五宮
朱雀院
今上
春宮
女一
女二
女三
女四
式部卿
匂宮
若君
常陸宮
中務宮
一品宮
女二宮
六條院
夕霧大臣
薫大将
内大臣中宮
右衛門督
中納言
右大弁
侍従宰相
源宰相中将
兵部卿
四位少将
童
春宮女御
女君五人
蛍兵部卿
童宮
同
四宮
帥宮
宮御方
大臣
六條御息所

八宮
大君
中君
浮舟

式部宮
侍従
宮君

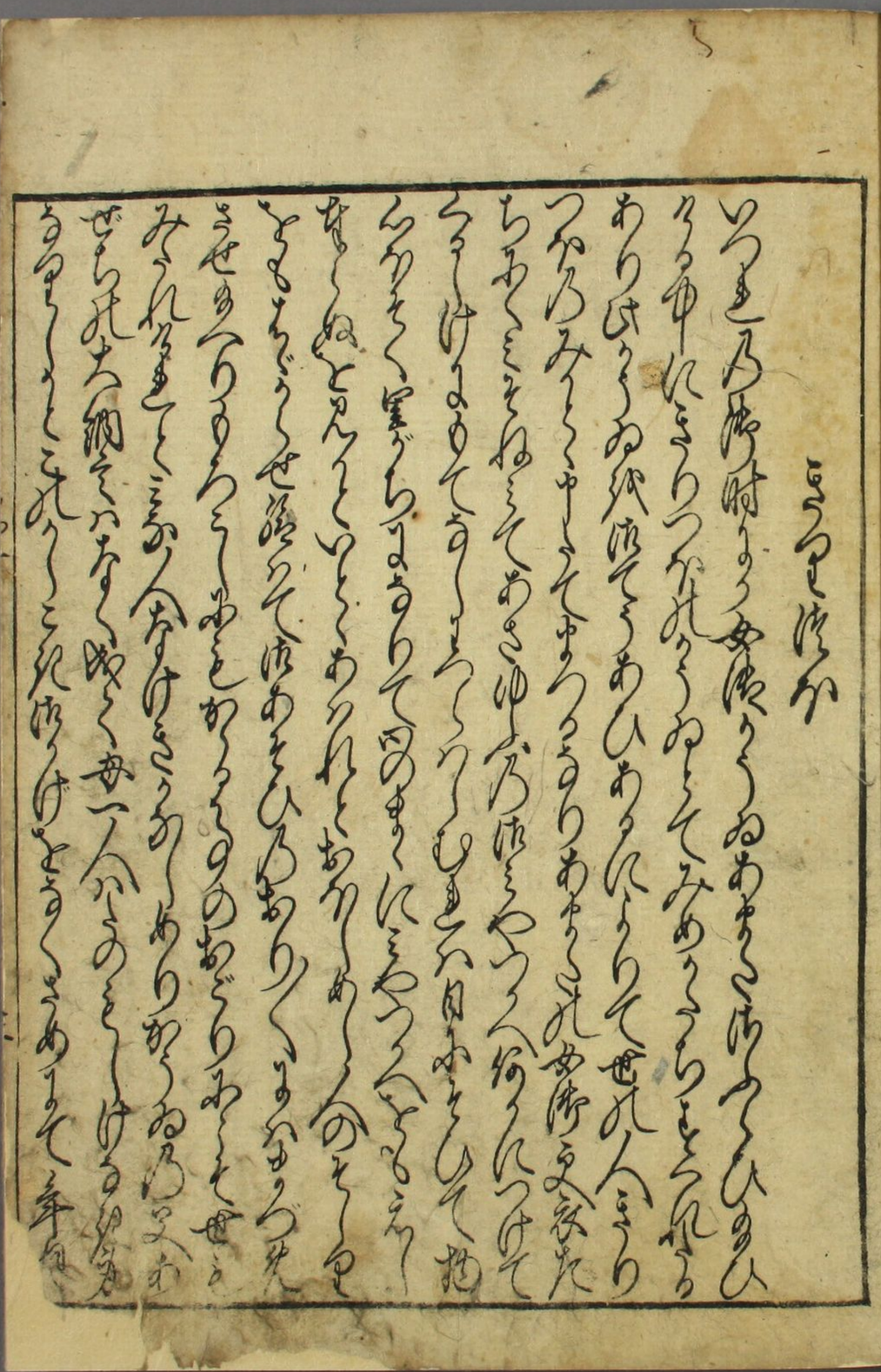
冷泉院
一宮
女一
女二
女三宮
弟宮院

●先帝
式部宮
源氏文
侍従
右近
兵部大輔
宮内大輔
左馬頭
右中将
左中将
左兵衛督
右兵衛督
左宰相
右中将
義人の君
八郎君
女子四人
源大納言
善君
中将
侍従
右近
兵部大輔
宮内大輔
左馬頭
右中将
左中将
左兵衛督
右兵衛督
左宰相
右中将
義人の君
八郎君
女子四人

●右大臣
蔵人少将
宣旨君

大臣
内君
右近
右衛門督
按察大納言
雲林院僧正
相壷更衣

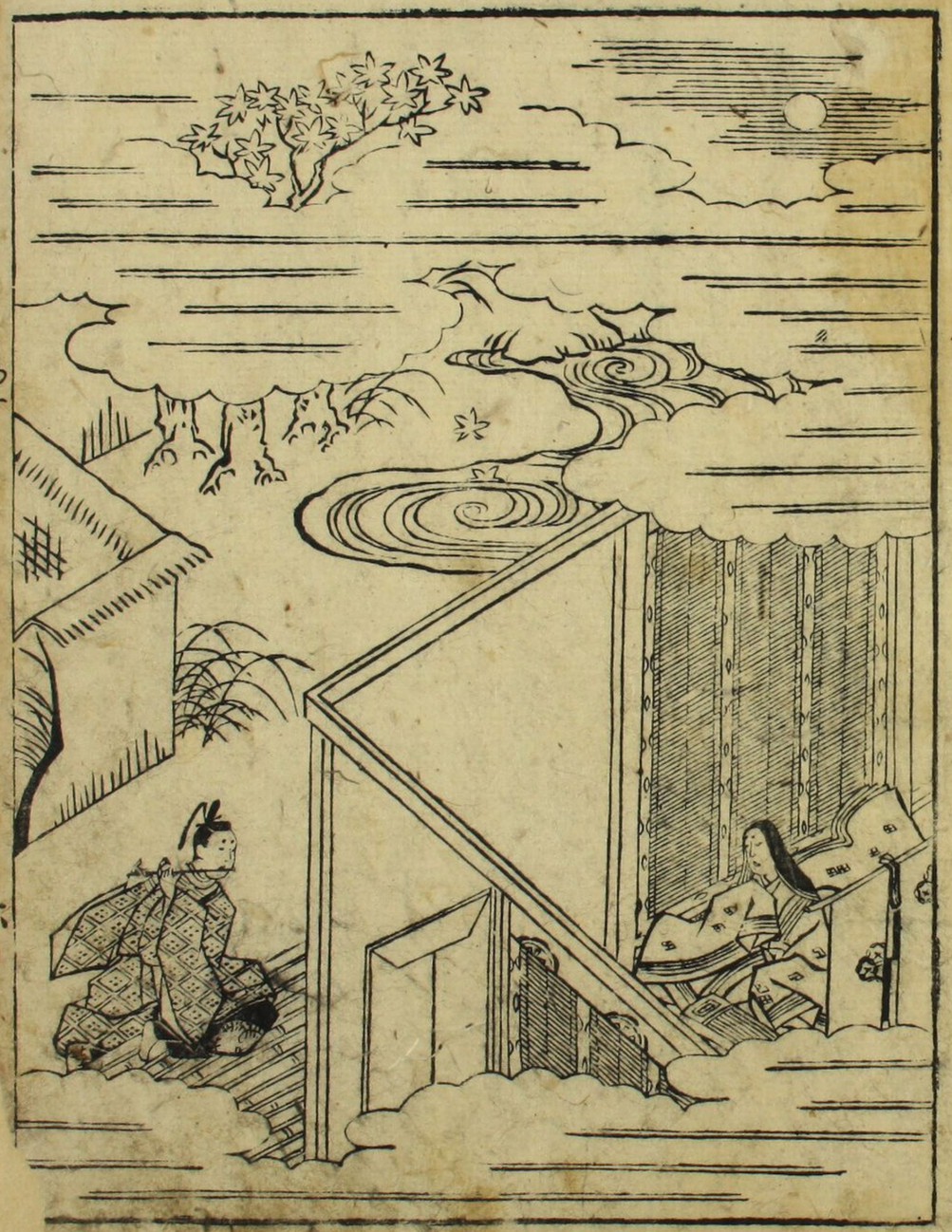
●権中納言
侍従
小君
宣旨君



[illegible]

[illegible]

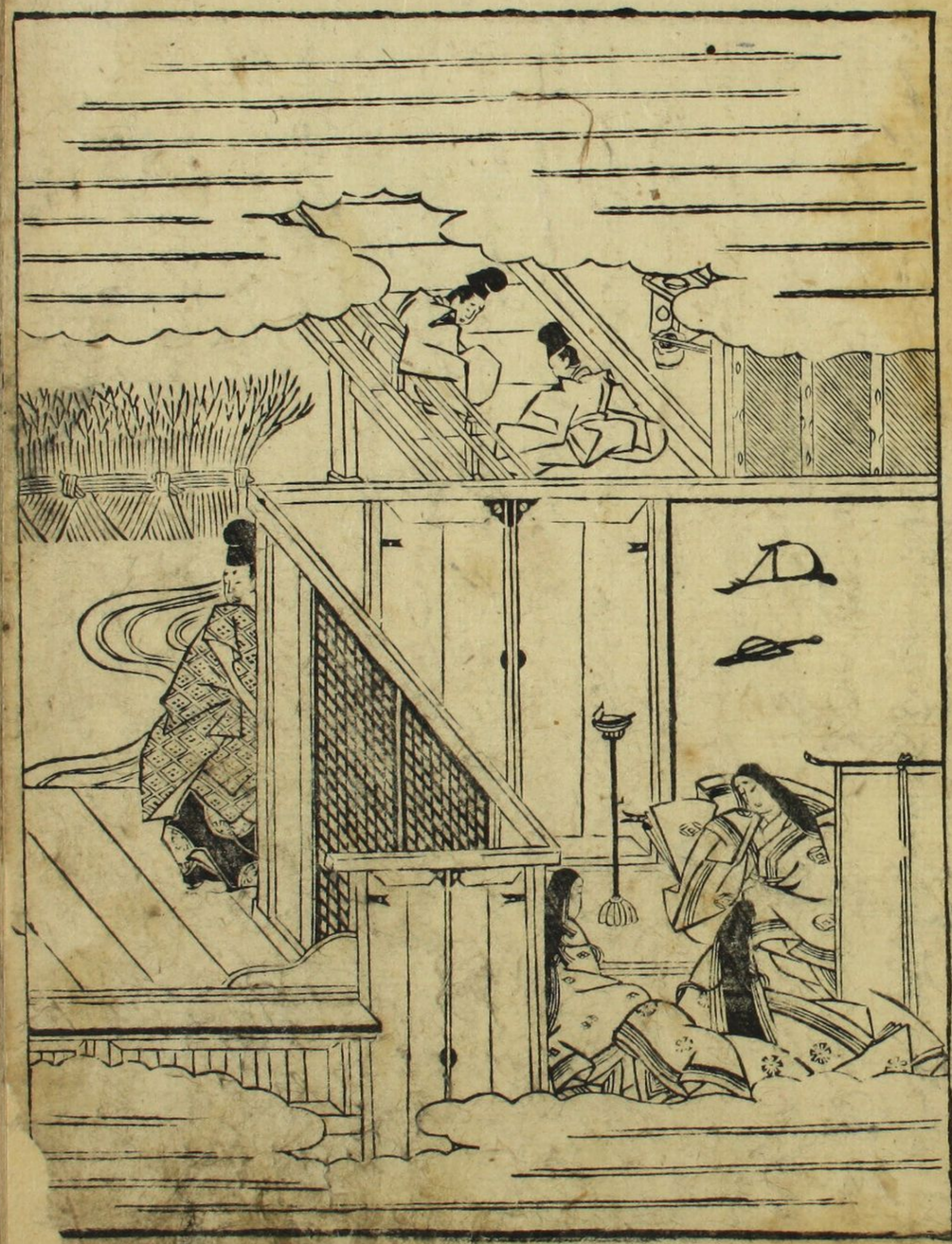
[illegible]



[illegible]
[illegible]
[illegible]

末

源氏の家の琴の琴は、びまんのわひさ三年わりこちに
なつかよんかうしつ
ひうこちんなつかよのはつかまのこと
きてけんこちんなつかよのはつかまのこと
きてけんこちんなつかよのはつかまのこと
きてけんこちんなつかよのはつかまのこと
きてけんこちんなつかよのはつかまのこと
きてけんこちんなつかよのはつかまのこと
きてけんこちんなつかよのはつかまのこと
きてけんこちんなつかよのはつかまのこと
きてけんこちんなつかよのはつかまのこと
きてけんこちんなつかよのはつかまのこと
きてけんこちんなつかよのはつかまのこと
きてけんこちんなつかよのはつかまのこと
きてけんこちんなつかよのはつかまのこと
きてけんこちんなつかよのはつかまのこと
きてけんこちんなつかよのはつかまのこと
きてけんこちんなつかよのはつかまのこと
きてけんこちんなつかよのはつかまのこと
きてけんこちんなつかよのはつかまのこと
きてけんこちんなつかよのはつかまのこと
きてけんこちんなつかよのはつかまのこと
きてけんこちんなつかよのはつかまのこと
きてけんこちんなつかよのはつかまのこと
きてけんこちんなつかよのはつかまのこと
きてけんこちんなつかよのはつかまのこと
きてけんこちんなつかよのはつかまのこと
きてけんこちんなつかよのはつかまのこと
きてけんこちんなつかよのはつかまのこと



すあ様ごしゆ
うぬさいひよあ
りやうにまりゆ
和らのとうひさあ
とうにわらとい
うるんうしにわ
りうさてひまれ
うるの当和うり
あうとも今ろう
すうつきうるう
んぶかんとうよ
きくわうれすう
てううとうせ八
あうれけんあれ
らせのふうとう

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ちまたにのよびわ〜うちあへ人ともひとこと
まへ〜ゆりもれあることをひそとこへぬう
にまうてゝうたあうんありとゆと
ほ　ちうてゝとそれたこあれたをのく〜うつ乃久ね
古来ゝあとあへよりひ乃行もあ乃ゝ人のりうん
もつてうゝに時こわうちうゝ乃ゝく出まふよ女ゝうちた
申ねあゝとゝりて出けゝと乃ゝうまひくあう
ちんまあうゝひゝゝとゝく　ほ
咲来ようゝて〜ゝあうてゝあてゝ見ゝけゝの乃ゝね
ゝ代ゝうゝへまゝいてゝゝれゝく　申ね
乃春ゝれゝまゝうねゝきあく来ゝん乃ゝあねゝゝう
久ゝ乃宮ハゝ乃ゝれ申ねゝ乃あゝれゝゝうゝし人ゝや
ゝゝゝゝゝまゝゝうゝたてゝあゝゝうゝたゝうひう
あゝゝゝゝゝひゝゝあまひゝゝうゝ返ゝゝゝよ
ひゝまゝゝ八月十六夜の月ゝ

ひぢをねさしあてうちさしうちあくれば
あるもめしたちもの　ものひとりとりてとひ
のりとしあるれをとしたるとこ　ふるのこしうべのゆれたるく
もるさしあうりてあかうみうけたるわしるわもあ
らいたるとしあるひしたうまこゆまへひぜとの
らいあるひいうりうりとあるれうまひく
うどそうあとうまとうへおそらんもうれ髪うたびの
女　えんのれ髪うたうへ髪れうれあうねてたのこうざよ
いさひあうらうれあうそのゆとくしてたをとうつか
うとを先して沖車にのせあせまつり
源　いあへうとうかのまうひうん船うさうねのく気みら
ゆ　山のれんうたてゆくはいうなのそうあくうけわたうえ
なあうれあんうやしかしうくうきりくあまうとて
あうもあんうとうあうまうく流れうとうれうつれなの秋
のはうしうあへいうさなうひまつり

夕夢よひやうく死にあるあうれたうれたうれ
夕夕　えあうとは夕夕はのうれ夢れたうまの時のうあうれ
いはれへうれのうのへひうけしとの為てとおうけぬうあ
うとうれれあけてうひうまうてよ沖まてううれあう
けうるれうてひ夕夕はのうれうれうあうとうんうとうれ
あはよとうつうれうあうれうれあへれたもうとあうう
夕夕うれれれうれをとあううよもあうとうとうう
てうあうれうううてあまうてうれあうれあへて
山ひうれううまうう秋のううれあううきうあうう
くあううせんへれあへうあまてううれあうとうう
うせあうあうあううへうひうんうれうつうんうう
うううんれあううとうあううあうもうあううれあう
うあうううあうれうれひひうんうのうれあう
いひんうへうあうあうれうれうあうあううう
うううて車にのせ沖のうよ着うれうあうのうへ出

[illegible]

[illegible]

[illegible]

あかつきのかたちとはかたるに
ひとすじ秋はたちよるかな
うきせにはなるもあちうくけうきりとも
くもとはたちくもはあるまじう
くもつかぬ日なり財布のそをあらはしなく
ちかみもとちかうちもこみちすし
ゆくうちちねは秋のうまうる